

サプライチェーン・マネジメント



基本的な考え方

当社グループはお取引先さまを重要なパートナーと考え、関連法令を遵守し公正かつオープンな取引を通じて、信頼関係の確立と相互の発展を目指すとともに、責任ある調達活動を推進しています。

責任ある調達のための取組み

▶サステナブル調達推進に向けた取組み

当社グループでは、既存のお取引先さまにおけるサステナビリティ活動の状況確認のため、「自主点検チェックリスト」による定期的な調査を行っています。2021年度は、全購入金額の約80%にあたる国内一次お取引先さま443社に対して調査し、結果をフィードバックしました(回答率:100%)。グローリープロダクツ株式会社の国内一次お取引先さま54社(回答率:100%)や、GLORY IPO Asia Ltd.の一次お取引先さま55社(回答率:100%)、Glory Global Solutions (Singapore) Pte. Ltd. の一次お取引先さま22社(回答率:91%)に対しても同様に調査し、結果をフィードバックしました。

新規のお取引先さまには、購買方針を理解いただくとともに、「グローリーグループ責任ある調達推進ガイドブック」や「グリーン調達基準書」への遵守を求めています。「自主点検チェックリスト」への協力等を含む「調達に関する覚書」も締結しています。

また、当社グループは責任ある調達活動の一環として、紛争鉱物調査を行っています。調査では、責任ある鉱物調達イニシアチブ(RMI)が発行している紛争鉱物報告テンプレート(CMRT)を使用し、対象鉱物の有無、精錬所の特定を行っています。

▶お取引先さまとのパートナーシップの強化

毎年開催している「お取引先懇談会」にて、当社グループの現況や戦略、サステナビリティ方針などを説明しています。2021年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、「サステナビリティ活動の取組みに関するご協力依頼」を送付し、当社のサステナビリティ活動について共有しました。



「お取引先説明会」(2022年度)

また、「品質会議」では品質や製造工程に関する情報共有や課題の検討を行い、お取引先さまに品質改善事例を発表いただく「品質向上活動発表会」や「基板品質方針説明会」等も実施しています。2021年度はオンライン形式で開催しました。加えて、当社の部品受入部門は定期的にお取引先さまを訪問し、改善のアドバイス、作業環境の改善提案などを行っています。

▶調達担当者の育成

当社グループは、公平かつオープンな取引の徹底とサプライチェーン全体におけるサステナビリティの推進に向けた従業員の教育に注力しており、国内外の調達担当者を対象にeラーニング(3ヶ国語に対応)を活用した研修を実施しました。2021年度は、約120名が下請法やサステナブル調達に関する講義を受講しました。

▶お取引先さまコンプライアンス・ホットラインの運用

グローリーグループの購買活動に関し、お取引先さまに対するグループ各社の役員・従業員によるコンプライアンス違反行為を、お取引先さまより通報いただく「お取引先コンプライアンス・ホットライン」を開設しています。通報は、調達担当部門とは異なる当社内の担当部門にて受け付け、事実関係を調査したうえで適切に対応しています。2021年度は違反事例は発生していません。